

Q&A 10問10答

Q1 自分の性格をひと言でいい表すと？

几帳面だと思う。

Q2 弱点を1つ教えてください。

人前で喋ることをあまり好まない。人見知りなところがある。

Q3 最近うれしかったことは？

徳洲会グループの77病院のなかで、月間医業利益率(7月)がトップになったこと。

Q4 今はまっているものはありますか？

チャットGPT。自分なりに考えた15年後の理想の病院を実際にデザインしてくれた。あれは面白い。

Q5 タイムマシンがあったら行きたいのか過去？未来？ その理由は？

未来。10年、20年先にこの病院がどうなっているかを見てみたい。

Q6 人生で最も影響を受けた人は？

稲盛和夫さん

Q7 日課はありますか？

休日の散歩。自宅から狭山湖や多摩湖まで歩いて行く。また、登山が趣味の妻と一緒に山登りをしている。

Q8 人生最後に食べたいものは？

妻の手料理。

Q9 今一番会いたい人は誰ですか？

亡くなった両親。小学校時代の同級生にも会いたい。

Q10 病院トップとしてふさわしい素養は？

患者さんや職員を守る強い信念を持つことと、ぶれないこと。中・長期の経営計画も途中でぶれないように考え抜いて立てている。仮に、修正するときは明確な根拠を示すこと。

●医療法人徳洲会 武蔵野徳洲会病院

救急医療を中心に多様なニーズに対応 歯科口腔外科など11のセンターを運用



東京西徳洲会病院(昭島市)に次いで東京都内では2番目の徳洲会グループの病院として、2015年に開院。「生命を安心して預けられる病院」「健康と生活を守る病院」を理念に掲げる。西東京市唯一の「歯科口腔外科センター」「循環器病センター」「低侵襲ロボット手術センター」など計11のセンターを運用している。

桶川 院長に就任した当初は寝られず、蕁麻疹が出たこともありました(笑)。私は米国に留学した2年間を除き、大学で30年以上過ごしました。「75歳まで元気で働きたい」という思いがあり、教授に就いてから間もなく、将来を見据えて医療経営の勉強を独学で始めました。

桶川 病院は5〜7年周期で成長します。当院は今、拡充している真つ盛りでこれから地域に根付く時期に入っていきます。そのためにも、地域の皆さんに当院について知っていただくかなければなりません。今年6月に行われた地域住民との交流イベント「むさとくフェス

桶川 医療者に選ばれる職場づくりにも注力しています。たとえば、子育てのため医療現場を長期間離れた女性医師は復帰後に再び適応することが難しいといわれています。このため、子育て期間中は短時間の勤務でも常勤として扱うことでブランドの影響が出ないよう配慮しています。

桶川 院長に就任した当初は寝られず、蕁麻疹が出たこともありました(笑)。私は米国に留学した2年間を除き、大学で30年以上過ごしました。「75歳まで元気で働きたい」という思いがあり、教授に就いてから間もなく、将来を見据えて医療経営の勉強を独学で始めました。

桶川 医療者に選ばれる職場づくりにも注力しています。たとえば、子育てのため医療現場を長期間離れた女性医師は復帰後に再び適応することが難しいといわれています。このため、子育て期間中は短時間の勤務でも常勤として扱うことでブランドの影響が出ないよう配慮しています。

桶川 院長に就任した当初は寝られず、蕁麻疹が出たこともありました(笑)。私は米国に留学した2年間を除き、大学で30年以上過ごしました。「75歳まで元気で働きたい」という思いがあり、教授に就いてから間もなく、将来を見据えて医療経営の勉強を独学で始めました。

桶川 院長に就任した当初は寝られず、蕁麻疹が出たこともありました(笑)。私は米国に留学した2年間を除き、大学で30年以上過ごしました。「75歳まで元気で働きたい」という思いがあり、教授に就いてから間もなく、将来を見据えて医療経営の勉強を独学で始めました。



各診療科で光るものをつくる

桶川 西東京市は田無、保谷両市が合併して発足しましたが、市内には4つの急性期病院のほか、近隣の小平、武蔵野、三鷹各市には著名なハイポリウムセンターである公立、公的、大学病院がある激戦区です。

桶川 院長に就任した当初は寝られず、蕁麻疹が出たこともありました(笑)。私は米国に留学した2年間を除き、大学で30年以上過ごしました。「75歳まで元気で働きたい」という思いがあり、教授に就いてから間もなく、将来を見据えて医療経営の勉強を独学で始めました。

PROFILE

おけがわ・たかつぐ ●1991年杏林大学医学部卒業、98年同大学大学院医学研究科卒業。99年米国テキサス大学(サウスウエスタンメディカルセンター)泌尿器科・腫瘍学研究員として留学。2001年に帰国後、杏林大学医学部泌尿器科講師、准教授を経て、14年教授。21年4月から現職。杏林大学医学部泌尿器科客員教授、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医。専門分野は泌尿器腫瘍学、ロボット・腹腔鏡手術、泌尿器一般